



令和2年（2020年）2月28日

各 位

東京都中央区八丁堀二丁目10番9号
ユニゾホールディングス株式会社
取締役社長 小崎 哲資
（コード番号：3258 東証第一部）
問合わせ先 専務取締役兼専務執行役員 山本 正登
（電話 03-3523-7534）

**株式会社チトセア投資による
当社株式の公開買付けに対する当社意見に関する補足のご説明**

現在、株式会社チトセア投資による当社の普通株式に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）が実施されており、当社取締役会は本公開買付けに対して賛同する旨の意見を表明しておりますが、今般、本公開買付けに関して、株主の皆様から、本公開買付けにおける従業員保護の在り方や本公開買付け後の当社の経営体制等についてご質問を受けていることなどを踏まえ、当社が本公開買付けに賛同した理由について、改めて以下のとおりご説明いたします。詳細については、令和元年（2019年）12月22日付「株式会社チトセア投資による当社株券に対する公開買付けに関する意見表明（賛同）のお知らせ」をご参照ください。

令和元年（2019年）12月22日付「株式会社チトセア投資による当社株券に対する公開買付けに関する意見表明（賛同）のお知らせ」にて公表いたしましたとおり、本公開買付けは「株主共同の利益の確保」、「企業価値の維持・向上」の双方を充足するものであることから、当社取締役会として本公開買付けに賛同する旨を決議いたしました。

本公開買付けのストラクチャーは、当社グループの従業員（取締役を兼任しておらず、かつ、就任して2年未満の部長級である当社グループの執行役員を含みます。以下「従業員」といいます。）を実質的な株主とする株式会社チトセア投資が公開買付者となることにより、公開買付者による当社の完全子会社化の完了後においても、当社グループの従業員が継続して当社の事業運営の中心的役割を担うことで、当社が、従業員にとって働きがいのある企業であり続けるとともに、従来の事業運営との連続性を持って持続的に成長していくことを志向することができる内容となっております。一般的にEBO（エンプロイヤー・バイアウト：Employee Buyout）と呼ばれるこの手法は、当社の企業価値の源泉であり、重要なステークホルダーである当社グループの従業員にとって最良の選択肢であると合理的に判断されるとともに、公開買付者に出資するファンドを有するローン・スター（Lone Star Global Acquisitions, Ltd. 又はその子会社・関連会社及びそれらが投資助言を行うファンドの総称をいいます。）の、当社の従業員保護を重視する考えとも合致したものであります。

なお、令和元年（2019年）12月22日付「ユニゾホールディングス株式会社代表取締役及び全役員並びにグループ会社代表取締役及び全役員異動（辞任）のお知らせ」のとおり、本公開買付けが成立し、公開買付者による当社の完全子会社化が完了した際には、当社及び当社グループの全取締役及び全監査役並びに全執行役員は辞任するため、その後は、公開買付者の実質的な株主である当社グループの従業員による新経営体制が速やかに発足することが想定されます。

また、当社は、令和元年（2019年）7月10日に、株式会社エイチ・アイ・エスによる当社の普通株式に対する公開買付けが公表されてから現在に至るまで、一貫して、現経営体制の維持を前提とした手法、すなわちMBO（マネジメント・バイアウト：Management Buyout）の選択肢を一切排除したうえで、株主共同の利益の確保とともに、当社の従業員の雇用の確保を中心とした企業価値の維持・向上を基本的な方針として、当社に対する買収の実施又は提案に対する対応を検討しており、本公開買付けは、かかる方針にも沿うものであります。なお、かかる方針については、同年8月16日に開催された、サッポロ合同会社（フォートレス・グループ）による当社株式に対する公開買付けに関する当社意見を決議した際の当社取締役会の議事録にも明記されております。

株主の皆様におかれましては、本公開買付けに対する当社意見の主旨、内容をご理解いただきますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

以上